

研究業績

竹濱 朝美

(2019 年度～2021 年度)

【書籍】

- 竹濱朝美「再エネ大量導入の次世代ネットワーク」諸富徹編著『入門 再生可能エネルギーと電力システム』日本評論社、221-245 頁、2019 年 4 月

【論文】

- 竹濱朝美・歌川学 「2030 年の西日本における電力需給、石炭火力・原子力発電を削減する場合の一考察」、エネルギー資源学会、第 38 回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス論文集、pp.42-47、2022 年 1 月。
- 竹濱朝美・歌川学「変動性再生可能電源による 2030 年の電力需給、地域間連系線増強と炭素税の効果検証」エネルギー資源学会、第 37 回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文集、pp.157-162、2021 年 1 月"
- 竹濱朝美・歌川学・斎藤哲夫 「東日本地域における風力大量導入による 2030 年の電力需給、地域間連系線と炭素税の効果検証」、日本風力エネルギー学会、第 42 回風力エネルギー利用シンポジウム 42 回、pp.212-215、2020 年 11 月
- 竹濱朝美・歌川学 「2030 年の東日本における変動性再エネ電源導入による電力需給分析：電気自動車および連系線活用による再エネ電力比率 45%達成方法の探索」、エネルギー資源学会、第 36 回 エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文集、pp.18-23、2020 年 1 月
- 竹濱朝美・歌川学・斎藤哲夫「東日本における電力需給の簡易解析、風力大量導入と 2030 年の再生可能エネルギー電力比率 45%の検証」、第 41 回風力エネルギー利用シンポジウム（発表原稿集）、245-248 頁、2019 年 12 月
- 竹濱朝美・歌川学「2030 年の西日本における電力需給分析：デマンドレスポンスおよび地域連系線活用、再エネ電源比率大幅拡大の検証」第 38 回エネルギー・資源学会、研究発表会、講演論文集(CD 版 38 巻)、論文番号 22_1、2019 年 8 月

- 竹濱朝美・歌川学「西日本における 2030 年、再生可能エネルギー電力比率 45%に向けた課題、地域間送電とデマンドレスポンスの活用」電気学会研究会資料、35-40 頁、2019 年 5 月

【学会発表】

- 竹濱朝美・歌川学「変動性再エネ電源導入による 2040 年の電力需給と出力抑制の考察」日本環境学会日本環境学会、第 47 回研究発表会、予稿集 pp.5-6、2021 年 7 月
- 竹濱朝美・歌川学「再生可能電源の大量導入による 2030 年の電力需給解析，広域送電の検証」環境経済・政策学会 2019 年大会、福島大学、2019 年 9 月
- Asami Takehama “Technological support for energy transition: the technological approach for energy market and smart cities” Local Energy Governance in France and Japan, Universite de Lille, France, Sep.11-13, 2019
- 竹濱朝美・歌川学「2030 年の西日本における電力需給分析：デマンドレスポンスおよび地域連系線活用、再エネ電源比率大幅拡大の検証」第 38 回エネルギー・資源学会研究発表会、東京大学（駒場 I キャンパス）、2019 年 8 月
- 竹濱朝美・歌川学「変動制電源大量導入による東日本の電力需給バランス、再エネ 2030 年 50%目標の検証」日本環境学会、第 45 回研究発表会、横浜国大、2019 年 6 月
- 竹濱朝美・歌川学「西日本における 2030 年、再生可能エネルギー電力比率 45%に向けた課題、地域間送電とデマンドレスポンスの活用」電気学会研究会（新エネルギー／環境、高電圧、電力系統技術合同研究会）、京都大学、2019 年 5 月